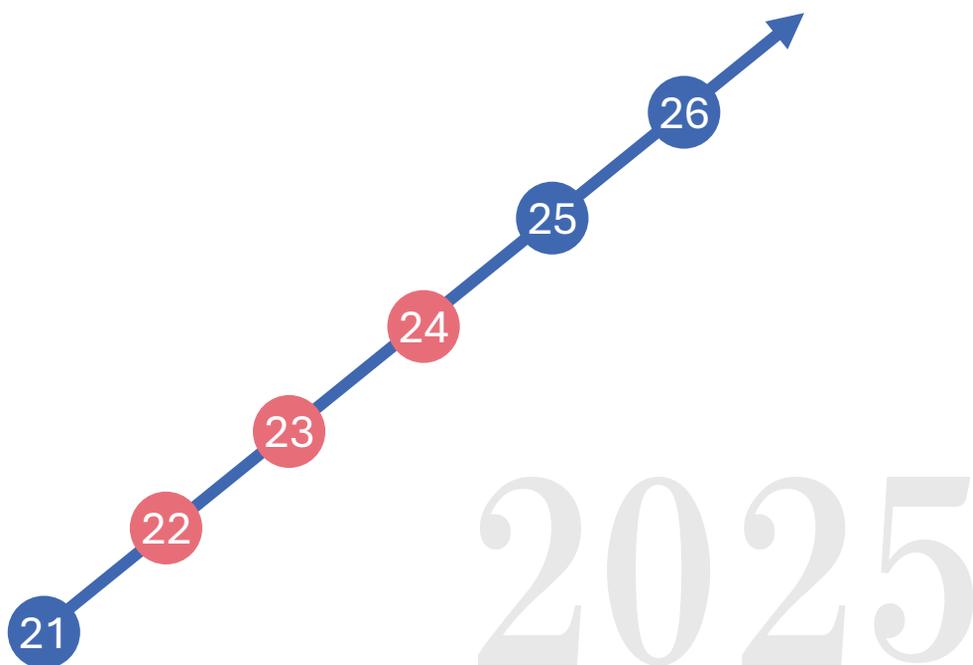




「あいち県民の日」・  
「あいちウィーク」等に関する  
県民意識調査報告書

【概要版】



2026年3月

愛知県県民文化局県民生活部県民総務課

## 1. 調査目的

この調査は、県民の「あいち県民の日」・「あいちウィーク」等についての認知度・意識等を把握し、その結果を今後の施策へ反映させることを目的とする。

## 2. 調査方法

インターネットを使ったアンケート  
インターネット調査会社の登録モニターのうち、条件に合致する対象者を無作為に抽出してアンケートを配信し、回答を集計したもの。

## 3. 調査日程

2026年1月9日（金）～1月19日（月）

## 4. 調査対象者

愛知県内に居住する18歳以上の県民

## 5. 回収数

回収数2,200人

18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
85	367	439	444	409	229	227	2,200

## 6. 調査項目

- ・「あいち県民の日」についての認知度／認知媒体／賛否／意見・要望等
- ・「あいちウィーク」についての認知度／認知媒体／賛否／意見・要望等
- ・「あいちウィーク」中のイベントや行事の認知度／参加状況
- ・「あいちウィーク」中の休暇取得状況
- ・「あいちウィーク」中の休みの過ごし方／外出先
- ・「県民の日学校ホリデー」についての認知度／認知媒体／賛否／意見・要望等
- ・「県民の日学校ホリデー」の休暇取得状況
- ・「県民の日学校ホリデー」の過ごし方／外出先
- ・愛知県に対する好感度・魅力について など

注：記載している構成比は、いずれも小数点第一位で四捨五入をして表記しているため、回答をひとつだけ選択する単一回答質問でも、合計が100%にならない場合があります。

認知度

「あいち県民の日」の認知度は67%、  
「あいちウィーク」「県民の日学校ホリデー」は5割前後に留まる

「名称も大体的内容も知っていた」と「名称を聞いたことがある程度」を合わせた「あいち県民の日」の認知度は、67.4%と全体の約3分の2に到達しました。一方「あいちウィーク」「県民の日学校ホリデー」については「まったく知らない」が5割前後を占める状況です。対象年齢の子の有無別でみると、子どもを持つ方からの認知度は高い一方で、「20代」「60代」での認知がやや低い傾向となっています。

Q. あなたは、「あいち県民の日」/「あいちウィーク」/「県民の日学校ホリデー」を知っていましたか。

	認知度			県民の日学校ホリデー対象の子「あり」「なし」別		
	名称も大体的内容も知っていた(a)	名称を聞いたことがある程度(b)	まったく知らない	認知度全体(a)+(b)	あり(323)	なし(1,877)
あいち県民の日	22.8%	44.6%	32.6%	67.4%	89.5%	63.6%
あいちウィーク	12.3%	34.1%	53.6%	46.4%	68.7%	42.6%
県民の日学校ホリデー	22.1%	29.5%	48.5%	51.5%	81.7%	46.4%

(サンプル数 2,200) ※全体数値よりも+5ポイント以上で赤字、全体数値よりも-5ポイント以下で青文字、+-10ポイント以上・以下でアミ掛け

【年代別認知度】

	全体(2,200)	18・19歳(85)	20代(367)	30代(439)	40代(444)	50代(409)	60代(229)	70代以上(227)
あいち県民の日	67.4%	83.5%	60.8%	67.0%	70.0%	67.7%	58.5%	76.2%
あいちウィーク	46.4%	47.1%	40.9%	45.6%	52.7%	46.2%	37.6%	53.7%
県民の日学校ホリデー	51.5%	71.8%	46.0%	49.2%	59.9%	47.7%	40.6%	59.0%

※全体数値よりも+5ポイント以上で赤字、全体数値よりも-5ポイント以下で青文字、+-10ポイント以上・以下でアミ掛け

認知媒体

半数近くがテレビ（ニュース、情報番組）から認知

いずれの取組についても、4~5割の方が「テレビ（ニュース、情報番組）」で知ったと答えており、引き続きパブリシティの重要性がうかがえます。次いで「家族、友人・知人」「学校・幼稚園」が情報源となっています。さらに、「県民の日学校ホリデー」の対象のお子さんをお持ちの方は、どの取組も「学校・幼稚園から」情報を得たと答えた方の割合が最も高くなっています。

Q. あなたは、「あいち県民の日」/「あいちウィーク」/「県民の日学校ホリデー」を何で知りましたか。

(複数回答)

	(サンプル数)	※上位項目のみ掲載						「県民の日学校ホリデー」対象の子を持つ方の回答	
		テレビ(ニュース、情報番組)	家族、友人・知人から	学校・幼稚園から	新聞	インターネットニュース	勤務先から	学校・幼稚園から	
あいち県民の日	(1,483)	46.4%	22.3%	18.4%	12.3%	12.1%	9.0%	(289)	57.1%
あいちウィーク	(1,021)	49.8%	18.0%	14.4%	12.2%	12.3%	8.4%	(222)	43.7%
県民の日学校ホリデー	(1,134)	41.5%	26.0%	23.0%	11.2%	10.0%	8.9%	(264)	60.6%

※1位:赤 2位:黄 3位:青  
※全体数値よりも+5ポイント以上で赤字、全体数値よりも-5ポイント以下で青文字、+-10ポイント以上・以下でアミ掛け

## 施策の評価 全体の4割近くが「あいち県民の日」等の取組を評価

いずれの取組についても、4割近い人たちが「良いことだと思う」と答え、「良いことだと思わない」と答えた方を大きく上回りました。また、「県民の日学校ホリデー」の対象年齢の子がいる方は、いない方に比べ「良いことだと思う」人の割合が高い傾向にあり、全体平均と比べても高い数値を示しました。

**Q. あなたは、「あいち県民の日」の制定／県民の日を含む直前1週間を「あいちウィーク」とすること／「あいちウィーク」中の1日を「県民の日学校ホリデー（学校休業日）」とし、休み方改革を促す日本初の試みの導入についてどう思いますか。**

県民の日学校ホリデー  
対象の子「あり」「なし」別

	良いことだと思う	どちらともいえない	良いことだと思わない	良いことだと思う全体	あり (323)	なし (1,877)
あいち県民の日	38.9%	54.0%	7.1%	38.9%	48.3%	37.3%
あいちウィーク	35.3%	56.6%	8.0%	35.3%	41.2%	34.3%
県民の日学校ホリデー	36.1%	51.2%	12.6%	36.1%	47.4%	34.2%

(サンプル数 2,200)

※全体数値よりも+5ポイント以上で赤字、全体数値よりも-5ポイント以下で青文字、+-10ポイント以上・以下でアミ掛け

## 休暇の取得率 小学生の子を持つ方の休暇取得率は高いまま昨年から横ばい

「あいちウィーク」を知っており、仕事をお持ちの方のうち、「あいちウィーク」中に通常の休みに加えて休みを取った方は全体で11.2% (昨年度14.1%)。そのうち、小学生の子を持つ方は昨年と同程度の33.0% (同33.5%)、中高生の子を持つ方は19.4% (同22.4%)に留まりました。また、「県民の日学校ホリデー」を知っており、仕事を持ち、県民の日学校ホリデーの対象の子を持つ方のうち、ホリデーに合わせて休みを取った方は全体で35.0% (同39.7%)、そのうち、小学生の子を持つ方は47.4% (同45.1%)で昨年と同程度、中高生の子を持つ方は減少して23.9% (同31.0%)の取得に留まりました。

**Q. あなたは、この「あいちウィーク [11月21日(金)~27日(木)]」中に、通常の休みに加えて、休みを取りましたか。／この「県民の日学校ホリデー」に合わせて、休みを取りましたか。**

	あいちウィーク ※1				県民の日学校ホリデー ※2		
	全体 (696)	小学生の子 を持つ方 (100)	中高生の子 を持つ方 (93)	大学生の子 を持つ方 (38)	全体 (203)	小学生の子 を持つ方 (114)	中高生の子 を持つ方 (113)
休暇取得率	11.2%	33.0%	19.4%	5.3%	35.0%	47.4%	23.9%
	「通常の休みに加えて、休みを取った」				「すべての子どもに合わせて取った」 + 「一部の子どもに合わせて取った」の合算値		

※全体数値よりも+5ポイント以上で赤字、全体数値よりも-5ポイント以下で青文字、+-10ポイント以上・以下でアミ掛け

※1: 「あいちウィーク」を知っており、仕事を持つ方が対象

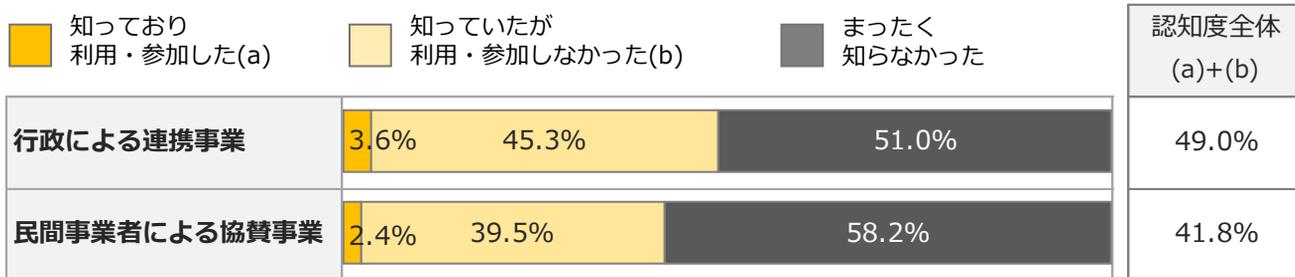
※2: 「県民の日学校ホリデー」を知っており、仕事を持ち、県民の日学校ホリデーの対象の子を持つ方が対象  
(「子どもが在籍する学校で『県民の日学校ホリデー』が実施されなかった」と回答した人を除いて集計)

連携（協賛）事業の認知と参加状況

認知率は約半数で横ばいも、参加状況は低下傾向

「あいちウィーク」を知っている方のうち、「行政による連携事業」を知っていた方が49.0%、「民間事業者による協賛事業」を知っていた方が41.8%となりました。また、「知っており利用・参加した」方は、行政による連携事業が3.6%（昨年度11.0%、一昨年度5.5%）、民間による協賛事業は2.4%（同9.9%、3.3%）となり、一昨年の参加率をも下回る結果となりました。

Q. あなたは「県や市町村」が「あいちウィーク」の期間中に施設の割引や無料開放等の各種サービスや関連イベント等を実施していたこと／「民間事業者」が「あいちウィーク」の期間中にお得なサービスや特典、イベント等を実施していたことを知っていましたか。



(サンプル数 1,021)

休みの過ごし方・外出先

「あいちウィーク」中の休暇取得者は、県外・県内ともに外出率が上昇  
お出かけ先は、「商業施設」「飲食店」「観光施設」

「あいちウィーク」に、加えて休みを取った方の休暇の過ごし方としては、「県外の場所や施設に出かけた」が最も多く43.6%(昨年度13.2%)と大きく上昇。また、「居住する市町村外の場所や施設」へのお出かけも33.3%(同25.3%)と上昇した一方で、「自宅で過ごした」は24.4%(同38.9%)と大幅に減少し、積極的に外出する様子が見えられます。

お出かけ先としては、「あいちウィーク」中には「商業施設」が5割以上、以下「飲食店」が4割、「観光施設」へのお出かけが3割で続きます。一方「県民の日学校ホリデー」では「観光施設」が44.1%でトップ、次いで「商業施設」が3割で続きます。

Q. 「あいちウィーク」中に取った休みの日(通常の休みを含む)／「県民の日学校ホリデー」は、どのように過ごされましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q. 「あいちウィーク」期間中に取った休みの日／「県民の日学校ホリデー」の外出先について、あてはまるものをすべて選択してください。

(複数回答)

(サンプル数)	住んでいる市町村内の場所や施設に出かけた	愛知県内(居住する市町村以外)の場所や施設に出かけた	県外の場所や施設に出かけた	自宅で過ごした
あいちウィーク ※1 (78)	24.4%	33.3%	43.6%	24.4%
あいちウィーク ※2 (440)	27.0%	23.0%	10.9%	75.7%
県民の日学校ホリデー ※3 (145)	16.6%	26.2%	24.8%	42.8%

(複数回答)

(サンプル数)	商業施設	飲食店	観光施設	自然・屋外	スポーツ施設	文化施設
あいちウィーク ※4 (243)	54.7%	38.7%	28.4%	17.3%	11.1%	10.3%
県民の日学校ホリデー ※5 (93)	29.0%	17.2%	44.1%	17.2%	10.8%	12.9%

※1:赤 2位:黄 3位:青

※上位項目のみ掲載

※4:「あいちウィーク」期間中に休みを取って外出した方が対象

※5:「県民の日学校ホリデー」に休暇等で外出した方が対象

※1:「あいちウィーク」期間中に追加で休みを取った方が対象

※2:「あいちウィーク」期間中に通常の休みを取った方が対象

※3:「県民の日学校ホリデー」中に休暇等で過ごした方が対象

休みを取らなかった理由

「自身の都合で休みを取りたい」「自分の代わりに勤務する人がいない」が上位

「あいちウィーク」で休暇等を取らなかった理由は、「自身の都合に合わせた休暇取得を優先させたかった」(23.5%)で最も高い数値を示しました。次いで「シフト制等になっていて、休みが取れなかった」(17.3%)、「勤務先が普段から休みを取りづらい」(14.1%)の順でした。

また、「県民の日学校ホリデー」で休暇等を取らなかった理由は、「自分の代わりに勤務する人がいないため、休みが取れなかった」(19.1%)がトップで、次いで「自身の都合に合わせた休暇取得を優先させたかった」(15.7%)、「勤務先が普段から休みを取りづらい」(14.8%)が続く結果となりました。

Q. あなたが、「あいちウィーク」中に、通常の休みに加えて、休みを取らなかった理由／「県民の日学校ホリデー」に合わせて休みを取らなかった理由を、次の中からすべてお選びください。

(複数回答)

(サンプル数)	あいちウィーク (618) ※1	県民の日学校ホリデー (115) ※2
自身の都合に合わせた休暇取得を優先させたかった	23.5%	15.7%
シフト制等になっていて、休みが取れなかった	17.3%	13.0%
勤務先が普段から休みを取りづらい	14.1%	14.8%
繁忙期にあたるため、休みが取れなかった	12.8%	13.0%
自分の代わりに勤務する人がいないため、休みが取れなかった	11.8%	19.1%
年次有給休暇等の付与日数が限られており、「あいちウィーク」という特定の日に休みを取得しなかった	11.7%	12.2%

※上位項目のみ掲載

※1位:赤 2位:黄 3位:青

※1:「あいちウィーク」を知っており、仕事を持っている人の中で、期間中に通常の休みに加えて休みを取らなかった方が対象

※2:「県民の日学校ホリデー」を知っており、かつ対象年齢の子がいて、仕事を持っている人の中で、「県民の日学校ホリデー」に休みを取らなかった方が対象

親が休みを取らなかった子の過ごし方

小学校低学年は「祖父母や親戚と一緒に」「トワイライトや学童」が上位  
高学年は「祖父母や親戚と一緒に」「兄弟姉妹で」「友だちと」

「県民の日学校ホリデー」に休みを取らなかった方の子どものうち、「祖父母や親戚などと一緒に過ごした」が「小学校」で高く、次いで低学年では「トワイライトや学童」、高学年では「兄弟姉妹で過ごした」という回答が多い傾向にありました。なお、「中学生」では、「友だちと一緒に過ごした」が高い数値を示しています。

Q. あなたのお子様は、「県民の日学校ホリデー」をどのように過ごしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

(複数回答)

(サンプル数)	小学校1～3年 (25)	小学校4～6年生 (30)	中学生 (48)	高校生・高専生 (45)
他の保護者(祖父母や親戚など)と一緒に過ごした	24.0%	26.7%	14.6%	11.1%
放課後子ども教室(トワイライト)や放課後児童クラブ(学童)で過ごした	20.0%	6.7%	-	-
子どもだけ(兄弟姉妹)で過ごした	16.0%	20.0%	20.8%	17.8%
友だちと一緒に過ごした	8.0%	13.3%	33.3%	20.0%
それ以外の体験的な活動(施設見学や旅行、キャンプ、買い物など)を行った	8.0%	3.3%	0.0%	4.4%
子どもがひとりで、自宅過ごした	4.0%	6.7%	14.6%	28.9%
塾や習い事などに行った	0.0%	10.0%	4.2%	13.3%
運動(クラブチームの活動を含む)や文化的活動(芸術鑑賞含む)を行った	0.0%	0.0%	2.1%	2.2%
「県民の日学校ホリデー(あいちウィーク)」にちなんだイベントに参加した	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%
わからない	20.0%	16.7%	18.8%	11.1%

※1位:赤 2位:黄 3位:青

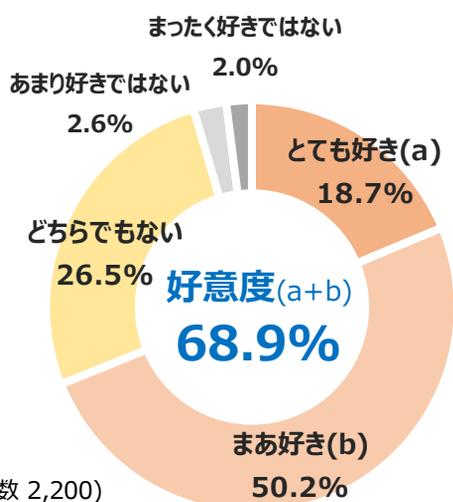
※「県民の日学校ホリデー」を知っており、かつ対象年齢の子がいて、仕事を持っている人の中で「県民の日学校ホリデー」に休みを取らなかった方が対象

## 愛知県に対する好感度

### 「30代」「40代」を谷に、若年層・高齢層ほど好感度が高くなる傾向

愛知県に対する好感度は、「とても好き」(18.7%)、「まあ好き」(50.2%)と合わせて68.9%(昨年度68.6%)となり、昨年と同水準となりました。特に「18・19歳」と「60代」以上において好感度の高さがうかがえます。ただし「とても好き」について見てみると「18・19歳」「20代」の数値が高い傾向にあります。

#### Q. あなたは、「愛知県」が好きですか。



#### 【年代別好感度】

	(サンプル数)	とても好き (a)	まあ好き (b)	好感度 (a)+(b)
全体	(2,200)	18.7%	50.2%	68.9%
18・19歳	(85)	<b>29.4%</b>	47.1%	<b>76.5%</b>
20代	(367)	<b>24.3%</b>	<b>43.9%</b>	68.1%
30代	(439)	15.0%	48.1%	<b>63.1%</b>
40代	(444)	14.6%	48.6%	<b>63.3%</b>
50代	(409)	18.3%	53.1%	71.4%
60代	(229)	18.3%	<b>55.9%</b>	<b>74.2%</b>
70代以上	(227)	22.0%	<b>57.7%</b>	<b>79.7%</b>

※全体数値よりも+5ポイント以上で赤字、全体数値よりも-5ポイント以下で青文字、+-10ポイント以上・以下でアミ掛け

## 愛知県の魅力

### 「住みやすさ」「なごやめしなどの独自の食文化」「自動車などのモノづくり産業」に魅力を感じている

愛知県の魅力は「住みやすさ」(49.3%)が最も高く、次いで「なごやめしなどの独自の食文化」(35.9%)、「自動車などのモノづくり産業」(33.5%)、「名古屋市中心部の都市魅力」(21.3%)、「武将などの歴史や史跡」(21.0%)となりました。

#### Q. あなたが「愛知県」の魅力と思う点を、次の中からすべてお選びください。

(複数回答)

1位	住みやすさ	49.3%
2位	なごやめしなどの独自の食文化	35.9%
3位	自動車などのモノづくり産業	33.5%
4位	名古屋市中心部の都市魅力	21.3%
5位	武将などの歴史や史跡	21.0%
6位	豊かな自然	20.3%
7位	まつり・伝統芸能・イベント	11.2%
8位	テーマパーク・遊園地	9.2%

(サンプル数 2,200)

9位	県民性	8.6%
10位	陶磁器などの伝統工芸	8.2%
11位	農林水産物	8.1%
12位	芸術・文化	7.1%
13位	スポーツ	6.6%
14位	接客サービスやおもてなし	3.3%
15位	スタートアップ支援	2.0%
	その他	1.5%
	魅力を感じない	14.6%